

## インフルエンザ情報 第 49 週 2011 年 12 月 5 日 ~ 12 月 11 日

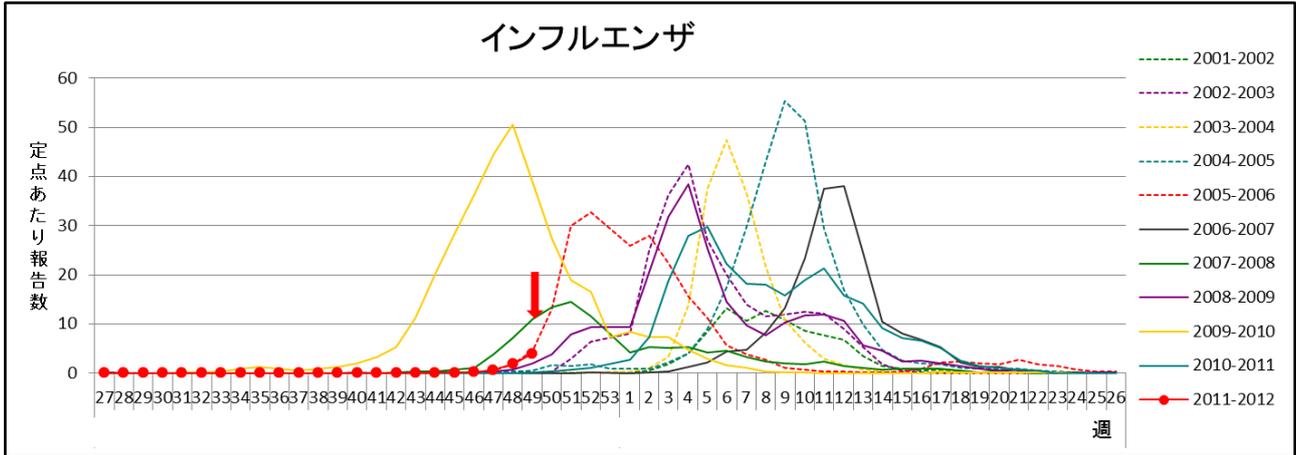
### 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 339 名（ 定点あたり 4.04 人 ）の報告があり、前週より増加しました。
- 特に倉敷市・備中地域・備前地域で患者が増加し、倉敷市では感染症発生レベル 2 になりました。
- インフルエンザとみられる臨時休校が 10 施設（ 和気町 2、浅口市 2、倉敷市 6 ）ありました。
- このうちの一事例から、インフルエンザウイルス AH3 型が検出されました。

【速報】第 50 週 インフルエンザとみられる臨時休業がありました。

▽12 月 12 日：備前市 2、浅口市 1、倉敷市 2   ▽12 月 13 日：倉敷市 2

▽12 月 14 日：浅口市 1、倉敷市 2                   ▽12 月 15 日：岡山市 1、倉敷市 2

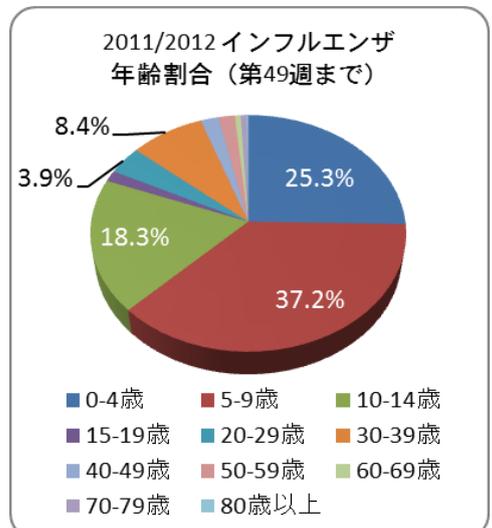
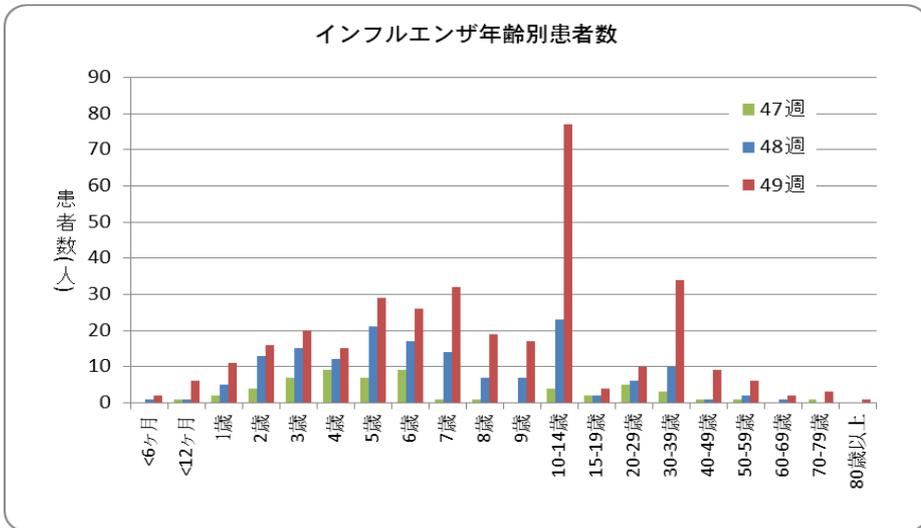


※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は、倉敷市 197 名、備中地域 101 名、備前地域 33 名、岡山市 5 名、美作地域 3 名の報告があり（ 84 定点医療機関定点あたり 4.04 人 ）、前週（ 1.88 人 ）より増加しました。倉敷市（ 5.38 →12.31 人 ）・備中地域（ 5.17 → 8.42 人 ）・備前地域（ 0.60 → 2.20 人 ）で患者が増加し、倉敷市は定点あたり患者数が 10.00 人を越え、感染症発生レベル 2 になりました。また、これらの地域では学校の臨時休業も相次いで報告されています。岡山市や県北部地域では患者は報告されているものの、まだ少数で集団発生など大きな流行はみられません。浅口市で発生した集団感染事例から、インフルエンザウイルス AH3 型が検出されました。

### 1. 年齢別患者発生状況 第 49 週（ 12/5~12/11 ）

患者は、臨時休業の報告があった主に幼稚園児や小学生に該当する 5-14 歳で増加しました。乳児や 70 歳以上の高齢者の報告はあるものの、まだ少ない状態です。



## 2. 地域別発生状況

第49週（12/5～12/11） 前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	339	↑	備 中	患者数	101	↗
	定点あたり	4.04			定点あたり	8.42	
岡山市	患者数	5	↑	備 北	患者数	-	—
	定点あたり	0.23			定点あたり	-	
倉敷市	患者数	197	↑	真 庭	患者数	-	—
	定点あたり	12.31			定点あたり	-	
備 前	患者数	33	↑	美 作	患者数	3	↑
	定点あたり	2.20			定点あたり	0.30	

【記号の説明】 前週からの推移：  
 2倍以上の減少  
 1.1～2倍未満の減少  
 1.1未満の増減  
 1.1～2倍未満の増加  
 2倍以上の増加

